



【校訓】 「自律・向上・友愛」

【教育目標】 「～新しい時代を生き抜く生徒の育成～」

校長 野々上 勝

2学期もよろしくお願いします

9月1日（火）、27名の生徒全員出席により、2学期始業式の日を迎えることができました。

2学期は各学年とも、立ち位置やステージが徐々にな変わっていく学期です。個々にとっては、来年の春を見据え、「その時、自分はこうありたいな」という姿を目指し、切り替えを意識し始める生徒が一人また一人と増えていく学期です。3年生はなおさらのことでしょう。

教職員一同、教える・支える・見守る等、タイムリーな指導に邁進いたします。保護者の皆様には今学期もご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

* 始業式 校長の言葉(一部抜粋)

～甲子園(全国高校野球)常連校の元監督の言葉を紹介～ 勝負の世界に身を置くということは、そういう厳しさにも向き合わなくてははいけません。今の君たちの世界とはちょっとかけ離れていますが、立場や言いまわしが違ったとしても、「こうすれば、こうなる」という原理は同じです。「湯原中には競うだけの環境が少ない」けども、人と競う前に『自分と向き合う』、『自分を甘やかさず、高みを目指す』、『今、目標がはっきりしないなら、目標が見えたときに備えて、今は学力や心の貯金を蓄えておく』 こういったことに環境は関係ありません。自分次第です。

(中略)

～トレーニング理論の紹介～ つまり、自分の全力を10割とすると、自分の8割以上の力を出すようなトレーニングをしていると、どんどん強くなっていく。(中略) 楽なことを繰り返していると「これが自分の全力だ」と脳が勘違いを起こし、体自体もそれに従っていくようになるのです。これは筋トレだけに限った話ではありません。人間の機能全般に通じる話です。そこで、例えば、家庭学習などではどうですか？ 君たちは普段、何割の力を出していますか？ 簡単な話です。普段、繰り返している自分の行動は、脳の発達にとって、大人に向かう積み重ねになっている流れなのか、小学生から成長が少ない流れなのかという話です。

そこで大切になってくるのが、意識の問題です。相手意識と自分をメタ認知する意識です。自分ではちゃんとしている「つもり」は、自分が思っている通り、ちゃんとできているのか。独りよがりな思い込みになっていないかなど、自分自身で身びいきなしに捉えられるかどうかです。自分の現状にきちんと向き合おうとする人は、自分の課題を正しく捉えようと努力する人になれます。まずは自分の現状を正しく見極め、その上で、自分はどうか、どうすべきかという意識があるかないかがカギとなります。それを一言で言うと、『自己指導能力』という言葉になります。自己指導能力が高まってくと、自分を大切にできます。人も大切にできます。もちろん、人をバカにしたり、いじめたりしません。自分をどんどん高めていくことができます。『自己指導能力』という言葉、覚えておいてくださいね。

* 県総体 バドミントンの部

7月23日(木)・24日(金)、倉敷市・水島緑地福田公園体育館で開催されました。試合運びや戦術の組み立てなど、たくさん学ぶことができました。



* 県秋季大会 水泳競技の部

9月6日(日)、他の競技に先駆けて県秋季大会・水泳競技の部が岡山市立市民屋内温水プールで開催されました。植木倅輝さんは県総体とは違う種目にも出場しました。



◆100m平泳ぎ 1' 27" 90

◆200m平泳ぎ 3' 02" 37

◆女子ダブルス 近藤果穂・手島あこ 2回戦進出

◆女子シングルス 池田優衣子 2回戦進出

*チャレンジワーク14【職場体験】



9月9日(水)～11日(金)、学区内の11事業所様のご協力により、2年生の職場体験を実施しました。巡回してきた教員の姿を見つけるやいなや、即座に立ち上がり、丁寧なお辞儀をした白石さん。同様に、「ありがとうございます」とお礼を言った山本さん。「自分が小さかった頃、どんな風にされると嬉しかったか」を思い出しながら、幼児と同じ目線に姿勢を下げて笑顔で接していた森本さん、横辺さん。泥と汗にまみれながら笑顔で手を振ってあいさつしていた手島さん。お客様に気持ちよく帰っていただくために、大きな声のあいさつを心掛けた植木さんなど、社会人としての厳しさややりがいを経験することができました。自分のなすべきことの自覚と、そこから芽生えた感謝や協調性・社会性など、現場でお世話になった方々から貴重な学びをいただきました。この3日間の体験が、自分自身の将来に向けての展望や、1年後の進路選択の際に生きてくることを期待します。ご協力いただいた関係者の皆様には心より御礼申し上げます。

*3年 未来のパパ&ママを育てる出前講座

3年生は9月15日(火)、倉敷市の看護師・鳥越千裕先生をお迎えし、『正しい知識は自分を守る～未来につながる自分のカラダ～』というテーマで講演を聴きました。将来、「よくわからないから…」とあいまいに流され、判断できないがゆえにトラブルに巻き込まれてしまうといったことにならないように、正しい知識と、それに基づく選択肢等につながる考え方を学びました。自分や周りの人のカラダ・命を尊び、朗らかに穏やかで、主体的な生徒たちの未来を願います。



*避難訓練(火災)

9月25日(金)、火災を想定した避難訓練を行いました。避難完了後、9月ということもあり、関東大震災の教訓から、地震と火災の複合的な要因による災害に見舞われたとき、自分たちが命を守るための行動などのイメージをシュミレーションしました。



真庭市消防本部 湯原分署の方からは消火器を用いた消火訓練、衣服に着火した際の消火の仕方、煙中体験等の指導をいただきました。



暑かった9月。二期作かのように、校庭ではアジサイが咲き、スイカが実を付けました。



*10月の主な予定

10月	2日	(金)	音楽(四重奏)鑑賞
	3日	(土)	美作地区文化連盟交流会
	6日	(火)	3年ふれあい体験
	7日	(水)	3年実力テスト
	9・10日	(金土)	県秋季大会・美作地区予選会
			※9日：参加しない生徒は家庭学習日
	23日	(金)	2年広島平和研修
	27日	(火)	ダンス体験教室
	29日	(木)	人権教室
	30日	(金)	3年進路説明会
	31日	(土)	県秋季大会



図書・原田先生

カニがサルにぶつけられた青い柿も、色づく季節になりました。そんなことから、「さるかに合戦」が飾られています。「かちかち山」、「分福茶釜」等、生徒達に尋ねると、「何となくわかる」と返ってきました。昔話なら誰もが知っている時代ではなくなってきているのかもしれないね。